

第29回 甲南英文学会定期総会・研究発表会のご案内

2013年6月10日

甲南英文学会会長 高橋 勝忠

メール：els@konan-u.ac.jp

ウェブ：<http://www.konan-u.ac.jp/~els>

甲南英文学会会員各位

本年度の総会、および研究発表会・講演会を以下の要領で開催いたします。ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：2013年7月6日（土）午後13時00分より

場所：甲南大学2号館2階、221号教室、222号教室、223号教室

プログラム

13:00 -13:50

総会（2号館2階223教室）

議題

- 1 2012年度決算報告
- 2 2013年度予算案
- 3 その他

報告

- 1 編集委員会より
- 2 その他

研究発表 (14:00-16:20)

[英語学] 2号館2階223教室

・ 14:00-14:40 司会:有村 兼彬 (甲南大学)

「that-t 効果」

北峰 裕士 (北九州市立大学)

・ 14:50-16:20 司会:中島 信夫 (甲南大学)

「目的語の量子性・累積性と述語の完結性について——日本語のアスペクト特性から見えること」

中谷 健太郎 (甲南大学) 青木 奈律乃 (甲南大学大学院生)

[英米文学・文化] 2号館2階221教室

・ 14:00-14:40

司会:中井 誠一 (島根大学)

「1853年のMissouri州Hannibalの地図、その経済的、文学的作成の試み」

和栗 了 (就実女子大学)

・ 14:50-15:30

司会:中井 誠一 (島根大学)

「汝が車、星につなげ——エマソンと天文学」

青山義孝 (甲南大学)

16:30-18:00 講演会 (2号館2階223教室)

司会:中島俊郎 (甲南大学)

「美のプレハブ小屋から」

森晶麿 (作家)

講演者紹介

森 晶麿 (もり あきまる、1979年3月5日生) 静岡県浜松市出身、香川県高松市在住。早稲田大学第一文学部卒業、日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了。ライターとして漫画脚本などを手掛けながら小説の執筆活動を続け、2011年、『奥ノ細道・オブ・ザ・デッド』でライトノベル作家としてデビュー。同年『黒猫の遊歩あるいは美学講義』で第1回アガサ・クリスティー賞を受賞。

ミステリ作家として活動を開始する。その他の作品に『黒猫の接吻あるいは最終講義』（早川書房 2012年5月）、『虚構日記』（PHP 研究所 2012年6月）、『東京・オブ・ザ・キャット』（PHP 研究所 2012年7月）、『黒猫の薔薇あるいは時間飛行』（早川書房 2012年12月）などがある。

講演レジメ

美のプレハブ小屋から

8年前の院生時代に書いた作品でデビューし、続編執筆のために美学との再タッグを余儀なくされた悪戦苦闘の二年間。意図と受容のギャップに頭を悩ませながら美とは何か、小説とは何か、ミステリはどう作用するべきかを考え続けた。本講演では、裸形の世界に〈美のプレハブ小屋〉を建てた少年期を振り返って自らのルーツを探り、出版界の現状を鑑みながら、今後十年のヴィジョンを再構築するまでの試行錯誤の変遷を辿りたい。

18:10～20:00 **懇親会**（生協2階レストラン）
どうかこぞってご参加ください。参加費1000円

【出欠について】

出席・欠席の旨は、メール添付ファイルの返信、または郵送の場合は同封のハガキにて、必ずお知らせください。欠席される方は、委任状にも署名・捺印をお忘れなきよう、よろしく願いいたします（メールによる返信の場合、捺印は不要です）。

【役員会について】

本年度の役員会は、10号館8階準備室(L-810)にて午前11時より開催予定です。役員の方は万障お繰り合わせのうえ、ご出席をよろしく願いいたします。